

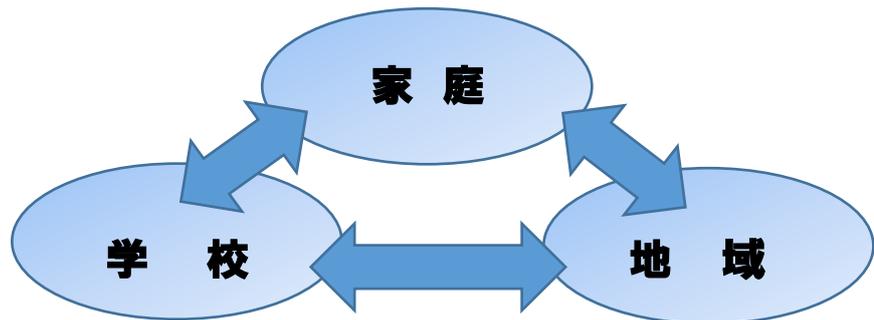
子どもに着実に学習内容を身につけさせるために

家庭でできる「学びのススメ」

このリーフレットは、学校、家庭、地域が連携し、みんなで寄り添い導きながら、児童一人ひとりの力を伸ばすためのものです。その第一歩として、家庭学習の継続と習慣化のために、是非、各家庭においてもご活用ください。

こどもの

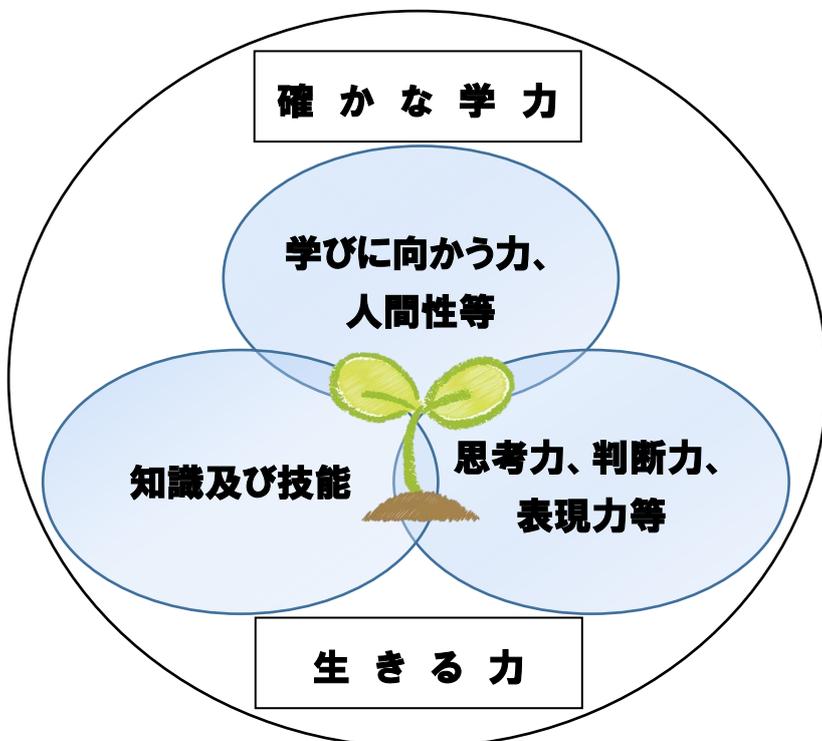
学力を育てるのは



ともに歩もう！

学校教育と家庭教育と地域教育

3つの力が、効果的にバランスよく働くと、こどもの学力は、着実に伸びます。



❖子どもたちに必要な学力は、基礎的な「知識及び技能」はもちろん、「学びに向かう力、人間性等」や「自ら考え判断する力」、「表現する力」などを含めた幅広く活用できる「確かな学力」です。

❖社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの力をバランスよく指導し、「生きる力」を育てます。

豊能町教育委員会



「学びのススメ」小学生版

家庭での学習は、将来児童が社会人として自立するための基盤となる大切なものです。学校でも学習内容の定着、学習意欲の向上のため、学習課題を明確にし、「わかる・できる」授業実践のため日々努力しています。家庭・地域の方々と一緒に、より確かな力を養っていきましょう。

家庭学習の充実を図るとともに、子どもたちがよい習慣を身に付けてほしいと思います。

【家庭学習の方法】

(1) 家庭学習の習慣（家庭学習のポイント）

- ① 毎日必ず宿題をする。 → 家庭学習の習慣化
- ② 宿題後、「家庭学習のめやすの時間」まで学習する。 → 家庭学習の習慣化
- ③ テレビやゲーム、スマホやインターネットを見ながら学習をしない。 → 集中力の向上
(使用する時の目安—例えば1日1時間等しっかりルールを決める)
- ④ 机の上をきれいにして姿勢をよくして行う。 → 学習の効率化
- ⑤ 学習が終わったら、次の日の準備をする。 → 忘れ物の防止

(2) 発達段階による家庭学習

- 1・2年 → 学校の宿題ができる。家庭でも学習しようという気持ちがもてる
- 3・4年 → 学校の宿題が確実にできる。宿題以外にも少しずつ家庭学習ができる。
- 5・6年 → 学校の宿題が確実にできる。自主的な家庭学習ができる。

(3) 家庭学習の時間のめやす

学年×10分（例えば6年生なら6×10=60分）

(4) 家庭学習の内容（宿題以外でこんな学習をしてみたらどうでしょう）

* 家庭学習ができたならお家の人に見てもらいましょう *

| | | |
|----------|---|--|
| 家庭学習の内容例 | <ul style="list-style-type: none"> ○読書をする（例えば週1冊目標） ○漢字練習、漢字調べ（部首、書き順） ○漢字ドリル ○意味調べ ○日記 ○教科書の音読・視写 ○敬語集め ○計算練習 ○算数ドリル ○教科書の問題練習 ○自分で問題を作って、解いてみる ○テストやプリントの問題をもう一度解く ○学習で興味をもったものについて調べてみる ○授業で学習したことをもう一度ノートにまとめる ○学習の予習（教科書を見る）をする ○英単語を覚える ○四字熟語を集める ○国語辞典、漢字辞典、その他の図鑑を使って調べる ○日本地図、世界地図を身近に置いて地域の特色や様子について調べる ○新聞の記事などに目を通してみる ○自然や生き物とふれあい、観察してノートにまとめる ○詩や歌の暗唱をする（例えば俳句や百人一首等） | |
|----------|---|--|



「学びのススメ」 中学生版

I めざす子どもの姿

中学卒業後の進路をしっかりと踏まえ、基礎的・基本的な学習を計画的・継続的に身に付ける
学習時間のめやす

1年生 60分～70分以上 2年生 70分～80分以上 3年生 80分～90分以上

II 充実した家庭学習をするために

- (1) **その日の復習、明日の予習、テストに向けての学習を計画的・継続的に**
今日習ったことをその日のうちに復習し、明日の授業の予習をしましょう。一方で、定期テストや実力テストがいつあるのか、カレンダーで確認し、学習計画を立てて、目標に向かって継続的に学習しましょう。
- (2) **規則正しい生活リズムで、学習時間の確保を**
起床・食事・就寝時間を決め、規則正しい生活をして、家庭学習の時間を確保しましょう。部活動の長い夏と部活動の少ない冬との家庭生活の過ごし方の違いから、それぞれの時間割を作りましょう。
- (3) **集中してできる学習環境、心の落ち着く人間関係づくりを**
静かな中で集中してできる場所、教科書や資料、参考書等の配置など、必要な情報が入手しやすい環境を自分で整え、保護者に協力してもらいましょう。また、テレビやゲーム、スマホやインターネットの電源を切る等、けじめをつける勇気を持ちましょう。一方で、友人や先生、親との人間関係を作ることは大切なことです。家族や信頼できる友との会話を大切に、円滑なコミュニケーションにつとめよう。

～継続は力なり、夢をかなえる礎なり！～



Ⅲ こんな学習方法で、家庭学習をやってみよう・・・中学生の皆さんへ

☆重要☆ 家庭学習をして、わからないところが出てきた場合、学校の先生に聞きましょう！

| | |
|-----------|--|
| 国語 | <p>◇漢字は何度も見たり、書いたりしてみましょう。書き順に気をつけて丁寧に書く習慣をつけることが大切です。</p> <p>◇古文は何回も声に出して読んで、古文特有のリズムに慣れることが大切です。古典に出てくる言葉は、意味を知っていると、内容理解が深まります。</p> <p>◇文法は品詞、活用の特徴や言葉の意味を考えましょう。</p> <p>◇読書に親しみましょう。活字に慣れるとともに想像力や表現力がつきます。</p> <p>◇学校以外のさまざまな作文募集にもチャレンジすると、自分の考えや表現が深まります。</p> <p>◇ことわざや慣用句を勉強して自分の表現力を鍛えましょう。</p> |
| 社会 | <p>◇地理は「地図帳」を見る習慣をつけましょう。</p> <p>◇地理はグラフや図表を読み取れる力が必要です。</p> <p>◇単純な暗記・丸覚えをせず、「なぜ？」を大切に、理由を知ることを意識してください。</p> <p>◇ニュースなどに日頃から興味・関心を持ちましょう。</p> |
| 数学 | <p>◇その日学校で学んだ単元の問題をもう一度解いてみましょう。</p> <p>◇テスト前に問題集をまとめてやるのではなく、普段から少しずつ解いていき、テスト前に焦らずに取り組みましょう。また、丸つけと直しも同時にしましょう。</p> <p>◇答えを覚えるのではなく、やり方をしっかりと考えながら解きましょう。</p> <p>◇問題は一度だけ解くのではなく、繰り返しやることでしっかりと解き方をマスターしましょう。</p> <p>◇苦手な単元に対しても積極的に取り組み、わからないところなどを減らしていきましょう。</p> |
| 理科 | <p>◇語句や学んだ内容を理解することからがんばろう。章ごとのつながりや語句など意味がつながってくる教科でもあるので、常にポイントを整理できるようにしましょう。</p> <p>◇実験の技能や得られる結果、考察を振り返るなどはとても大切なポイントです。</p> |
| 英語 | <p>◇復習をしっかりとしましょう。</p> <p>◇新出単語は声に出したり、紙に書いたりして地道に覚えていきましょう。</p> <p>◇教科書本文は、声に出して読めるようにしておきましょう。</p> <p>◇重要な英文は、確実に暗記し、正しく書けるようにしましょう。</p> <p>◇テレビの海外ニュースに関心をもって見たり、ALT との英会話に挑戦したりして、生きた英語にふれましょう。また、洋楽や洋画、洋書に興味をもつことは良いことです。英語のアニメや漫画でもよいでしょう。</p> |
| 音楽 | <p>◇さまざまなジャンルや国の音楽に触れる機会を持ちましょう。</p> |
| 美術 | <p>◇目に映るものを見て、感動する機会を多く持ちましょう。</p> |
| 技術・ 家庭 | <p>◇古くなった蛍光灯等を取り換えてみましょう。パソコンのタイピングの練習をしましょう。</p> <p>◇調理や裁縫など、家事手伝いを積極的にやりましょう。</p> |
| 保健・ 体育 | <p>◇新聞などからスポーツの情報を知り、興味を持ちましょう。</p> <p>◇健康な体を保つために体を動かすことを意識しましょう。</p> |